

令和2年度 下野市行政評価市民評価 ヒアリング資料

事務事業名	第77回国民体育大会栃木大会開催事業		所管部課	教育委員会	スポーツ振興課	
事業目的	令和4(2022)年に開催される第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)の推進、及び国体で行う正式競技、デモンストレーションスポーツの円滑な運営を図る。					
事業概要	<p>○いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会に対して補助金を交付することにより、国体の推進、及び国体で行う正式競技、デモンストレーションスポーツの円滑な運営を図る。</p> <p>○いちご一会とちぎ国体を効率的及び全庁的に推進し、国体に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、庁内推進本部を設置・運営する。</p> <p>○いちご一会とちぎ国体及びリハーサル大会において、本市開催競技を円滑に運営するため、庁内実施本部を設置・運営する。</p> <p>○栃木県及び本市開催競技共催市町・関係団体等との連携を図る。</p>					
総合計画での位置付け	2 文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり 3 市民総スポーツ"ひとり1スポーツ"の環境づくり 3 スポーツ施設の充実	重点事業区分	—	類型区分	Ⅱ(継続的推進)	
事業区分	新規・継続	継続	事業の種類	ソフト事業	市裁量の有無	裁量あり
根拠法令等	スポーツ基本法、国民体育大会開催基準要項、栃木県スポーツ推進計画2020、下野市スポーツ推進計画					
補助団体	—					
年度別	事業計画	平成30年度 旅費:14千円 需用費:99千円	令和元年度 旅費:53千円 需用費:97千円 備品購入費:26千円 補助金:1,100千円	令和2年度 補助金:14,280千円	令和3年度 補助金:73,388千円	令和4年度 補助金:106,727千円
	事業費	113千円	1,276千円	14,280千円	73,388千円	106,727千円
事業内容	対象年度(令和3)	いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会補助金 73,388千円 【補助金内訳】 ○総務費:340千円(会議費:307千円、事務局費:33千円) ○開催推進費:9,655千円(調査費:545千円、開催推進事業費:9,110千円) ○リハーサル大会運営費:63,392千円(ハンドボール競技:38,910千円、サッカー競技:24,482千円) ○予備費:1千円				
	財源	国県支出金 14,655千円	地方債・その他 0千円	一般財源 58,733千円		
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	<p>●会議の開催 ○いちご一会とちぎ国体下野市実行委員会総会の開催(年1回) ○常任委員会の開催(年1~2回) ○専門委員会(総務企画・競技式典・宿泊衛生・輸送交通)の開催(各2回)</p> <p>●庁内推進組織の設置・会議の開催 ○下野市いちご一会とちぎ国体庁内推進本部会議・幹事会の開催(各2回) ○下野市いちご一会とちぎ国体庁内推進本部設置・会議の開催(年2回)</p> <p>●各種計画・要項等の策定 ○いちご一会とちぎ国体下野市開催推進総合計画年次計画に沿った各種計画・要項等策定</p> <p>●広報・啓発活動 ○PR懸垂幕の設置(市役所)、PR用広報啓発グッズの制作・配布、PR横断幕の設置 ○イベントでの国体ダンス披露・国体ブースの設置(市産業祭等) ○県主催イベントでの下野市ブースの設置</p> <p>●関係機関及び競技団体との連絡調整 ○県実行委員会との連携・連絡調整 ○共催市町(サッカー:宇都宮市・さくら市・矢板市・那須塩原市・真岡市・益子町、ハンドボール:栃木市・野木町)との連携・連絡調整 ○サッカー協会・ハンドボール協会との連携・連絡調整</p> <p>●先催都市の準備状況等の調査及び研究 ○令和元年度茨城国体視察(視察延日数9日間、延人員79名) ○令和2年度においては、鹿児島国体延期、三重国体リハーサル大会中止により、先催地現地視察中止。</p>					

事業推進方針判断に際しての3つの視点					
必要性	A	○	全て	要件(3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化や市民ニーズ等に適合する。 <input checked="" type="checkbox"/> 第二次下野市総合計画の施策体系と事業目的に整合性がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある。	
	B		1以上	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
	C		なし	国内最大のスポーツの祭典である第77回国民体育大会(愛称「いちご一会とちぎ国体」)が、栃木県で開催されるのは、1980年の第35回「栃の葉国体」以来42年ぶりとなります。本市においても、市、市議会、市体育協会などが連携し、正式競技の誘致要望を行った結果、サッカー(少年男子)、ハンドボール(全種別)を開催することとなりました。いちご一会とちぎ国体は、市民のスポーツへの関心を高め、生涯スポーツを推進する好機と捉え、すべての市民が「する」「みる」「支える」といった大会への参加や関わりを通して、気軽にスポーツを楽しめる地域づくりを推進することとしています。第二次下野市総合計画前期基本計画の中で、市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくりのため、栃木国体等スポーツの大会の誘致推進を掲げており、必要性は高い事業であると考えています。以上のことから要件の3項目を満たし、A評価としました。	
有効性	A		全て	要件(3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与する。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する。	
	B	○	1以上	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
	C		なし	いちご一会とちぎ国体下野市開催基本方針(平成30(2018)年11月12日採択)では、国体を「する」「みる」「支える」といった関わりを持つことで、市民一人ひとりがスポーツに親しみ地域のきずなが深まる大会を目指すとともに、多彩な魅力ある地域資源を積極的に活用し、全国から訪れる方々をおもてなしの心で温かくお迎えするとともに、本市の魅力を全国に発信する大会を目指すこととし、(1)市民総参加、(2)下野市の魅力を発信する、(3)「市民総スポーツ"ひとり1スポーツ"」推進、(4)地域スポーツの活性化。4項目を実施目標として掲げています。本市の将来に向けた有効性は高い事業ではありますが、評価指標の設定がないため、要件の2項目のみ満たした状況であり、B評価としました。	
効率性	A	○	3以上	ソフト事業(要件:6項目) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の質を維持しつつ、事業費の削減や取組方法を見直す	ハード事業(要件:3項目) 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる方法を選択している。
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他課との連携等により、相乗効果を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民団体や近隣自治体等と協働や連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用する。	将来の活用・活性化等のビジョンが明確である。 マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている。
	C		なし	管理業務等において、現在の取組手法から、さらに効率性を図ることは困難である。	
半世紀に一度地元で開催される国体を、夢と感動、記憶に残る大会にするため、広報啓発活動のための企業・団体の協賛募集、広報や運営に協力していただけるボランティアの募集等に取り組んでいます。また、本市開催競技のサッカー、ハンドボールは、他市町との共催となることから、県も含め連携・調整を行うとともに、庁内推進本部を設置し、庁内情報共有等随時行っているところです。なお、リハーサル大会、本大会とも、競技会運営に係る県補助基準額を考慮した運営に取り組むこととしています。多くの方の協力のもと開催準備を進めている本事業の効率性は高いと考えています。以上のことから要件の3項目以上を満たし、A評価としました。					

総合評価	
○	継続実施
	見直し実施
	廃止